

令和7年第4回津南町議会臨時会会議録

(7月24日)

招集告示年月日		令和7年7月18日		招集場所		津南町役場議場	
開会	令和7年7月24日 午前11時00分			閉会	令和7年7月24日 午前11時50分		
応招・ 不応招 出席・ 欠席の別	議席番号	議員名	応招等の別	議席番号	議員名	応招等の別	
	1番	月岡奈津子	応・出	7番	風巻光明	応・出	
	2番	滝沢萌子	応・出	8番	石田タマエ	応・出	
	3番	村山郁夫	応・出	9番	栞原洋子	応・出	
	4番	関谷一男	応・出	10番	吉野徹	応・出	
	5番	久保田等	応・出	11番	江村大輔	応・出	
	6番	筒井秀樹	応・出	12番	恩田稔	応・出	
地方自治 法第121条 の規定に より説明 のため出 席した者 の職・氏名 (出席者： ○印)	職名	氏名	出席者	職名	氏名	出席者	
	町長	桑原悠	○	農林振興課長 農業委員会事務局長	小島孝之	○	
	副町長	根津和博	○	観光地域づくり課長 DMO推進室長			
	教育長	島田敏夫	○	建設課長	鴨井栄一郎	○	
	農業委員長			教育委員会教育次長	滝沢泰宏	○	
	監査委員			ジオパーク推進室長			
	総務課長	高橋昌史	○	会計管理者			
	福祉保健課長	野崎健	○	病院事務長			
	税務町民課長			商工観光班長	石田剛士	○	
職務のため出席した者の職・氏名		議会事務局長	保坂晃久		議会事務局班長	太田一規	
会議録署名議員	1番	月岡奈津子		6番	筒井秀樹		

〔付議事件〕

（7月24日）

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第56号 財産の取得について（除雪タイヤドーザ）

日程第4 議案第57号 財産の取得について（自走式仮設水洗トイレカー）

日程第5 議案第58号 令和7年度津南町一般会計補正予算（第6号）

議長の開議宣告

議長（恩田 稔）

ただいまから令和7年第4回津南町議会臨時会を開会し、これより本日の会議を開きます。

—（午前11時00分）—

議事日程の報告

議長（恩田 稔）

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

日 程 第 1 会議録署名議員の指名

議長（恩田 稔）

会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第125条の規定により、本臨時会の会議録署名議員に、1番、月岡奈津子議員、6番、筒井秀樹議員の両議員を指名いたします。

日 程 第 2 会期の決定

議長（恩田 稔）

会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日一日限りとしたいと思います。

これに御異議ありませんか。 —（異議なしの声あり。）—

異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日一日限りと決定いたしました。

日 程 第 3

議案第56号 財産の取得について（除雪タイヤドーザ）

議長（恩田 稔）

議案第56号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

町長（桑原 悠）

冬期間の交通の確保を図るため、除雪タイヤドーザを購入するものです。
細部につきましては、建設課長が説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

議長（恩田 稔）

建設課長。

建設課長（鴨井栄一郎）

—（以下、資料に沿って細部の説明を行う。）—

議長（恩田 稔）

これより質疑を行います。 —（質疑者なし）—

質疑はないものと認め、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。 —（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 56 号について採決いたします。

議案第 56 号について原案に賛成の方の起立を求めます。 —（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 56 号は原案のとおり可決されました。

日 程 第 4

議案第 57 号 財産の取得について（自走式仮設水洗トイレカー）

議長（恩田 稔）

議案第 57 号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

町長（桑原 悠）

災害時の避難所のトイレ環境改善を図るため、自走式仮設水洗トイレカーを購入するものです。

細部につきましては、総務課長が説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

—（以下、資料に沿って細部の説明を行う。）—

議長（恩田 稔）

これより質疑を行います。

7番、風巻光明議員。

（7番）風巻光明

何点かお伺いします。

災害時を目的とした水洗トイレは非常に重要なことだと私は認識しておりますけれども、まず1点は、この1,500万円相当は競争入札をやられたのかどうか。落札率がどうなっているのか。まず1点、教えてください。

それと、2台ということなのですが、津南町の避難所は20か所くらいあるわけです。この2台は、広域で災害が起きた場合はとても間に合いませんけれども、2台と決めた根拠。きっと交付金関係で上限があるのということかもしれませんけれども、この2台で良しとした根拠。最近、テント式の災害時の簡易トイレというのが大分安い価格で、場合によっては1万円前後でテントと簡易トイレを出している場合があります。そういったものも私は必要かと思っておりますけれども、災害時の避難所は数か所あるのに2台と決めた理由を教えてください。

取りあえず、それだけ質疑いたします。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

では、二つほど御質疑があったかと思っております。

まず、入札関係なのですが、先ほども申し上げました7月16日に一般競争入札ということで行わせていただきました。落札率は、99.9%ということになっています。

それから、2台の根拠ということで、これは議員の御指摘のとおり、各避難所というものは町内に幾つかございます。ただ、今回、先ほど申しました新しい地方経済生活環境創生交付金の関係で、今回、このトイレカー以外にも防災倉庫とか各防災備品、簡易ベッドとか、いろいろなものを購入をさせていただいているということになります。これはきっと前の新年度予算で説明があったかとは思っているのですが、議員御指摘のとおり、上限もあたり、あるいは町の財政的などころも考えまして、本来であればもっと整備できれば良いのでしょうかけれども、2台ということでこの度は購入させていただきました。加えて、今後、必要とあれば台数を全ての避難所に全て設置するということはきっとできないのですが、御案内のとおり、これは自走式・移動式でございますので、それぞれの避難所に必要なときに行けるということで、この2台をフル活用するなかで対応を講じてまいりたいと思っております。

議長（恩田 稔）

7番、風巻光明議員。

(7番) 風巻光明

落札率が99.9%というのは非常に違和感を覚えるのですけれども、ということは、予定価格が1,520万円くらいだったということなのではないでしょうか。非常に滅多に99.9%というのは無いのですけれども、予定価格は幾らでしょうか。

議長(恩田 稔)

総務課長。

総務課長(高橋昌史)

町としては、当然のことながら三社見積を取らせていただいて、三社見積を参考に町の予定価格を決めさせていただいて、実際に入札を行ったら今言った落札率、非常に厳しいところではございますが、今言った数字になったということでございます。

議長(恩田 稔)

11番、江村大輔議員。

(11番) 江村大輔

決まっていないのかもしれないのですけれども、災害があった際にはどこに配置するというイメージを持っているのか。単純に地震だった場合には全域なわけですが、そうしたときにどういう所に配置するという想定で今回購入するのかということ。

あと、やはり通常使わないともし何かあったときに。先ほどは防災訓練とか防災教育に使うということでしたけれども。防災訓練は我々の地域だと外丸集落がやっていますけれども、なかなかそんなに多くがやっていないのではないかと。あることがあるので、もう少しいろいろ使える、目に見えるようなかたちで考えていないのか。例えばですけど、何かのイベントのときのトイレに、今週末ある津南まつりとかの時にそれを配置しておいて、防災教育につなげるとか、いろんなイベントとの連携みたいなものも考えているのか聞かせてください。

あと、二部屋あるということだったので、これは身体障害者とかが入られるようなことではなくて階段とかで上って。イメージが付かないので申し訳ないのですけれども、どういうことなのか。健常者や足腰が良い人が上って使うのか、そのイメージを教えてくださいたいと思います。

議長(恩田 稔)

総務課長。

総務課長(高橋昌史)

3点ほどあったかと思えます。

1点目は、議員おっしゃるとおり有事の際、地震の規模等々にもよりますが、それが地域ごとに、例えば以前あった上郷地震的なところで部分的な地震なのか、あるいは町全体の地震なのか、いろんな地震の規模もあったり災害の発生場所もありますので、そういつ

たところはその都度、地震の大きさ、どこが一番被害が大きかった、無かった、断水はどこがしているのか、下水が詰まって止まってしまった、配管が壊れたという様々なことを勘案するなかで優先順位を付けながら、一番ここに配車したほうが良いだろうということで町のほうで判断させていただいて配備をしたいと思っています。

それから、二つ目の平時、これは先ほども申し上げましたが、平時にも町の防災訓練もありますし、また、各集落でやっている所、これも確かに取り組んでいる集落はなかなかお願いしても少ない部分もありますが、そういったことで集落でやるときに来てほしいということであれば、可能な限り出向いて行いたいと思っています。

それから、町の教育委員会ともこれをまた協議するなかで、小学校でやる防災訓練等々の授業等があれば、ぜひそういった所にも。ぜひ、子どもたちからも見てもらって、防災教育という視点で活用できればと思っています。

それから、三つ目の、これは身体障害者用になっているかということなのですが、そのものはなっていません。ただ、子どもたちや高齢者が乗入れしやすいように、3段の階段式になっておいております。そこから子どもであったり高齢者であったりというのは危険が無いように昇降ができるような階段式にはなっていますが、車椅子が乗り入れる仕様にはなっていないということでお聞きしています。

議長（恩田 稔）

11番、江村大輔議員。

（11番）江村大輔

津南まつりとかのイベント時に仮設トイレを今も借りていると思うのですが、そういうときにこれを使うみたいな考え方は無いのかと先ほども聞いたので、それもお聞かせください。

車椅子が入れるとまではならないのかもしれないのですが、通常の仮設トイレも1段上がって、その上に入って行くわけで、何か軽トラックのあおりみたいなものを下げると道路の所から3段で上がって使えるということでのいいのですか。その軽トラックの上に乗っているものを下すとかではなくて、そこに3段で上がっていくということですよ。そういうものの手すりみたいなものとか、結局、使う人が結構年配者も多いのかなと思うと、そういう配慮みたいなものも何かオプションとかであるのだったら付けておいたほうが。災害時というのは、基本的にそういう人が一番使いやすいようにしておかなければいけないのかなと思うのですが、そういうことはどうなのでしょう。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

失礼しました。夏祭りとか、その他イベントのところでも、すぐに入れるかどうかは分かりませんが、これは観光地域づくり課とも当然検討を。そういったところでも幅広く周知をするなかで、実際にいざ有事の際には住民の方がより使えるように周知を図っ

てまいりたいというところで思っています。

それから、今言った3段式は、どちらかと言うと軽トラックの後ろのほうから、普通であれば1段なのですけれど、そこにステップがあるようなかたちで軽トラックの一番後ろのほうから上がっていくようなイメージです。そこに子どもであったり、議員が御心配の高齢者であったりも安全・安心をもって上がられるような工夫はしてある車にはなっています。

議長（恩田 稔）

9番、栗原洋子議員。

（9番）栗原洋子

この自走式のトイレカーは、ほかの自治体でも今広がっているようですね。良いことだと思います。

この自走式のトイレカーはレンタルもあるというのは調べられましたか。1日1万8,000円の基本料金が掛かるみたいですが、調べたら、こういうレンタルもあるということです。今、軽トラックで2部屋、洋式と伺っていますけれど、このレンタルの写真をみると、洋式と男性用が二つある。それが1台の中にあるということで、プライバシーも守られるというようなことがありましたけれど、洋式だけが二つあるということなのですか。

それと、交付金ですが、2025年度の地方創生交付金で2,000億円以上計上されているそうです。移動式トイレの導入もその中に入っていますけれど、この地方創生の中の地域防災関係の補助金なのでしょうか。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

1点目の御質疑、レンタルも検討したかということなのですが、先般も繰越明許費ということで前年度にしたのだけれども、備品等々の整備ができなかったから繰越明許費というなかでさせていただきました。これも先般、説明させていただいたのですが、前年度、レンタルまで検討したかどうかは、恐らく検討はしたり、購入したほうがいいのかどうかもしたと思います。ただ、先ほど議員もおっしゃったとおり、国のほうのお金を付けるには恐らくレンタルというわけにはいかないのかなと。購入しなければ交付金は付かないのかなというところも踏まえて、恐らく購入ということで。その当時になってしまいましたが、恐らく購入ということで判断をさせていただいたのかなとは思っております。

それから、三つ目の交付金については、これも議員御賢察のとおりです。新しい地方経済生活環境創生交付金の地域防災緊急整備型の対象事業ということで、この自走式トイレカーを購入させていただくというものです。

二つ目、トイレはきっといろいろなものを選べる、議員がおっしゃったとおり、全部洋式な部分と男性用のものと対になってできるのですが、洋式は様式として二つ揃えることもできますし、男性用は男性用として二つ揃えることもできます。基本の型は、男性用と

女性用の様式とで一つ一つなのだそうです。ただ、これも前段の話の前に協議した結果、それがコロナ禍があったかもしれませんが、洋式便所で座って、あるいは蓋を閉めたなかでの衛生的なことも含めて、1台に洋式2台ということできせてもらうということでお聞きしてございます。

議長（恩田 稔）

9番、栗原洋子議員。

（9番）栗原洋子

災害対策の一環としてということですが、広域で災害があった場合に、栄村がもしどうしてもトイレが欲しいというときに、自走式ですので、県をまたいで持って行くことも可能なのでしょうか。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

これも議員御賢察のとおりです。まさしくこの自走式、もちろん町内の方の有事の際のところもありますが、今言った隣地で災害が起きたときに派遣をするというときにもこのお車を使って応援するということがイメージをしております。

議長（恩田 稔）

4番、関谷一男議員。

（4番）関谷一男

この自走式トイレカーなのですが、非常に金額が高いのではないかと思います。2台で1,500万円、1台当たりになると七百五、六十万円。軽トラックが約120万円。その荷台に500万円からする建物を本当に造るのかというのをまずお聞きします。

私は、この軽トラックの自走式トイレカーは建設現場で働いておりますので、もう何回も使っています。中也分かります。今までは仮設トイレというのは、持ってきて設置型なのです。持ってきて降ろしてどんと置いた設置型。そして、後ろに水タンクがありまして、足元にポンプみたいなものが、これを踏むと水が流れるという式なのですが、今の軽トラックの自走式トイレカーはレバーがあって、そのメーカーさんによっても違うのだそうですけれど、これをこうやると水が出るというかたちになっています。そして、今、江村議員が言っていましたけれども、脱着式の階段が付いておりますので、それは問題無い。現場が移動してもそれに乗っていけるというようなかたちで。私、この資料を見て、現場の人や機械メーカーの人たちにも聞いたのだけれども、こんなには本当はしないのではないかなということで話を聞きました。そして、これだけ値段がするというのであれば、特別の注文が入っているのか。例えば、トイレにクーラーが付いているとか、照明が付いているとか、そういうものがあるのかなという話をされておりました。ちょっとメーカーのホン

ダさんに聞いてみたら、車メーカーさんはやっぱり車だけの出荷で荷台に乗せるものはメーカーが違うので値段的なことははっきり分からないというような回答を頂いているのですが、それにしても、この2台で1,500万円というのはどう考えても厳しいなと思うのです。レンタカーは栗原議員が言いましたけれども、レンタカー会社さんが買う価格と町が買う価格というのはやっぱりかなりの差があるのだと思います。その辺までは私は分かりませんが、ちょっといろいろお聞きはしてみますけれども、かなり高いなという気がします。それはもう一度見て、もう決まっているのなら仕方ないのですが、調査はできるかと思えます。

そして、2台ですが、これは男女兼用で使うのか、あるいは男性用1台、女性用1台というふうにするのか、そこをお伺いしてみたいと思います。私どもの建設現場だと、どうしても女性はきれいに使うのです。中に入っても清潔に使っているのですが、男性のほうはものすごく汚れてしまうのです。たばこの灰は落としていく、たばこの空き箱はほん投げでいくというような感じで非常に汚れている。その使用方法はどういうふうに見られているのか、そこをお伺いしてみたいと思います。

議長（恩田 稔）
総務課長。

総務課長（高橋昌史）

まず、今回の予定価格等々を踏まえて、ちょっとお高いのではないかということなのですが、これも先ほど風巻議員にも御説明をしたとおり、町としては正規の手続を取って三社見積ということで取らせていただきました。それを参考に今回、予定価格を組ませていただいたなかで入札をした結果として、この金額になったということです。議員がおっしゃるとおり、この車も本当にメーカーとかにもよって違ったり、オプションもどういったものを使うかによって値段がきっと若干変わってくる部分もあるかと思いますが、私どもが作った仕様書に基づいて入札をした結果としてはこの値段であったということで、入札によった結果ということで御理解いただくしかないかなと思っています。

それから、実際に現場に行ったとき、これが男女でどういう使い方なのかというところは、災害が起きてみて本当に必要なところ、これは男性用なのか女性用なのか、その地域によっても男女比率とかが変わってきたりするかもしれませんし、そういったことを踏まえて分けるのであれば、こっちが男性、子ども用とか、こっちが女性専用というようなことで区分も場合によってはしなければならぬかもしれません。ただ、災害によって、あるいは現場によって判断せざるを得ないかと思っています。

それから、レンタルの関係です。先ほども栗原議員からもお話が出ましたが、いろんな所で全国的にいろんな災害が出てございますが、そういったなかで、私どもとしては常備しておくということが必須だろうということで、レンタルよりも町として購入して常備しておいて、いざというときにはすぐに出動ができるという体制を町としてもやはりとらなければいけない。あるいは、そういった全国的な被災地でトイレに困っているという声もいろいろなニュースを見ているとありますので、この辺は町としては常備しておくことが有事の際の最も効果的なものであろうということで、レンタルではなく購入させ

てもらおうということで御理解いただければ有り難いと思っております。

議長（恩田 稔）

4番、関谷一男議員。

（4番）関谷一男

非常に金額的にはちょっと分からないところがありますが、非常に高いものですから、私どもは今の建設現場でも、やはりトイレは清潔に使おうということで、土足禁止というような体制をとっている。トイレに入る時は靴を脱いで入ろうというような対策をとっている所もございます。そうすると、なかなかトイレは汚れない、清潔に使える。そこをまたきちっと検討していただいて、男女別はどうするか、共用するのかというのも検討して、また教えていただければと思います。

そして、これは2台を購入するということですが、使う期間が限られるわけですね。災害時、あるいはイベント時にちょっと使わせてもらおうというようなことですが、1年間のうちの3分の2以上は使用しないような状況だと思うのです。これは保管場所はどういうかたちをとるのでしょうか。

議長（恩田 稔）

総務課長。

総務課長（高橋昌史）

保管場所については、先ほども少し申し上げましたが、今後、町の防災倉庫を美雪町に建てる予定です。このトイレカーのほかにも防災備品として少し不足している、例えば、簡易ベッドとかテントとかといったものを今回揃えますが、そういったものも一緒にまとめて、その防災倉庫の中に収納しておく。このトイレカーもその中に収納するなかで守っていくというようなイメージでございます。

議長（恩田 稔）

ほかに質疑はありませんか。

—（質疑者なし）—

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

—（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第57号について採決いたします。

議案第57号について原案に賛成の方の起立を求めます。

—（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第57号は原案のとおり可決されました。

日 程 第 5

議案第 58 号 令和 7 年度津南町一般会計補正予算（第 6 号）

議長（恩田 稔）

議案第 58 号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

町長（桑原 悠）

議案第 58 号について御説明申し上げます。

総務課関係では、歳入で、前年度繰越金の増、災害復旧事業債の増です。

福祉保健課関係では、歳出で、クアハウス津南温水ヒーター入替工事費の増です。

農林振興課関係では、歳出で、水稻渇水被害応急対策事業補助金の増です。

観光地域づくり課関係では、歳出で、森林セラピー基地バイオトイレ雪囲い修繕料の増です。

建設課関係では、歳入で、農地農業用施設災害復旧事業分担金の増、公共土木施設災害復旧費国庫負担金の増、農地農業用施設災害復旧費県補助金の増。歳出で、農業用施設災害復旧に係る事務電算委託料及び測量委託料の増、災害復旧工事費の増、道路橋梁災害復旧に係る測量委託料の増、災害復旧工事費の増です。

教育委員会関係では、歳出で、津南小学校厨房エアコン更新工事の増です。

細部につきましては、担当課長が説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

総務課長（高橋昌史）、福祉保健課長（野崎 健）、農林振興課長（小島孝之）、観光地域づくり課長（石沢久和）、建設課長（鴨井栄一郎）、教育次長（滝沢泰宏）

—（以下、資料に沿って細部の説明を行う。）—

議長（恩田 稔）

これより質疑を行います。

9 番、栗原洋子議員。

（9 番）栗原洋子

渇水被害の件でお聞きします。毎年、この気候で渇水被害があるわけです。米原のほうは大谷内ダムが非常に大事ですけれども、今後、ダムをもう一つ造るような計画も必要なのではないかと思うので、その辺、考えていらっしゃるかお聞きします。

それから、今、大谷内ダムの水量がどのくらいなのか。また、ほかの地域も本当に渇水状況だと思うのですけれども、その地域と量を教えてください。

議長（恩田 稔）

農林振興課長。

農林振興課長（小島孝之）

まず、大谷内ダムの関係でございますけれども、今年で3年連続で渇水対策事業ということで、確かに、この大谷内ダム関係の水稻の水不足というのは非常に深刻なものになっているのかなと思ってございます。今、議員がおっしゃったダムをもう一つというお話ですけれども、その辺については、また土地改良区等々と相談しながら。同じ大きさというのは場所とか経費とか、そういったものがなかなか難しいかなと思ってございますが、それに代わるような貯水池みたいなものをどこかに造れないかということで、今後、地元の方なりに聞いていきたいと思ってございますし、土地改良区のほうもその辺の検討ができるのかどうかも含めて検討していきたいと思っております。

今現在の貯水量の関係でございます。うちのほうで調査、また、土地改良区のほうから情報提供いただいたものを若干申し上げますと、まず、大谷内ダムにつきましては、昨日の朝時点で貯水率が22.6%でございます。大谷内ダム関係については、輪番制をこの24日から行ってございまして、3地区に分けて行ってございます。去年は週2回ずつ水が掛けられるような状態だったということですが、今年は週1回ということで、そこは制限をしている状況です。この量からしますと、土地改良区さんいわく、この24日、25日、26日の三日間でゼロになるかなという予測は立てておりました。あと、城原ダムについては今現在、80.6%ということで、こちらはかなりありまして今は心配はしておらないところでございます。あと、赤沢のため池は65.2%となっております。中子のため池は50.2%、中子のほうも断水等を行って調整を今しているということでございます。源内山調整池については50.3%。大井平のため池は71.2%。羽倉のため池については80%となっております。笹沢の堤、これは外丸の所にございますが、これが80%。上野の池は90%。屋敷のため池、鹿渡の山のほうにあるため池になりますが、こちらは40%。最後に、穴山のほうは20%ということで、こちらはもうほぼ無い状態となっております。ということで、土地改良区関係とうちのほうで調査した情報については以上になります。よろしくお願いたします。

議長（恩田 稔）

9番、栞原洋子議員。

（9番）栞原洋子

ありがとうございます。津南原のほうも今日から輪番制ということで行いますけれども、ほかの地域が半分以上あるのだなというのが初めて分かりました。大谷内ダムのほうは行ってみようと思ったのですが、なかなか行っていられなくて、今聞いたら22.6%、やっぱり今後のことを考えれば、第二のダム、大谷内ダムの第二ということで必要なのではないかと思います。また具体的な提案とかもしていきたいと思っておりますので、ぜひ、また考えていただきたいと思っております。

以上です。

議長（恩田 稔）

農林振興課長。

農林振興課長（小島孝之）

ありがとうございます。大谷内ダム関係については、今、議員からお話があったとおり大変水不足になりますので、今後どういったかたちがとれるのか、考えていかなければいけないかなと思ってございます。それについても、またいろいろ御提案等ございましたら、ぜひお願いできればと思いますので、よろしく申し上げます。

議長（恩田 稔）

ほかに質疑はありませんか。 —（質疑者なし）—
質疑を終結いたします。

議長（恩田 稔）

議案第 58 号について討論を行います。 —（討論者なし）—

討論はないものと認め、討論を終結いたします。

議案第 58 号について採決いたします。

議案第 58 号について原案に賛成の方の起立を求めます。 —（全員起立）—

全員賛成です。

よって、議案第 58 号は原案のとおり可決されました。

議長（恩田 稔）

以上をもって、本臨時会に付議された事件の審議は全て議了いたしました。

これにて、令和 7 年第 4 回津南町議会臨時会を閉会いたします。

—（午前 11 時 50 分）—